

4年目を迎えたクリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西2010

クリエイティブ・ビジネスの祭典、クリエイティブ・インダストリー・ショーケースin関西(CrIS(クリス)関西)。

クリエイティブ・ビジネスの新たな市場形成を進めるため、その関連イベントを一定期間に集中開催することで、マーケットの育成、多様な人材交流・人材育成、情報発信力等を促進することを目的に2007年から実施している。4年目を迎えた2010年は8月末から12月末までの4カ月間、関西各地で21事業が開催された。以下に、その一部を紹介する。

2010年の特徴

CrIS関西は東京で開催されるJAPAN国際コンテンツフェスティバル(愛称:コ・フェスタ)のパートナーイベントとして位置づけられており、近畿経済産業局(以下、近経局)、関経連が事務局となって2010年で4年目を迎えたイベントである。

今回の特徴は3つある。1つは①BtoB、②人材育成、③観光コンテンツの3つのカテゴリーに分野を絞って参画事業を募ったことである。その結果、2府4県から21事業が参画し、各地で個性豊かな事業が展開された。

2つめは、CrIS関西の中核事業である「大阪創造取引所」において、初めて「アワード」が創設されたことである。これは大阪創造取引所に出展したクリエイティブ作品の中から秀でた作品を顕彰することで、さらなる知名度向上をねらうものである。あわせて海外マーケットを意識した支援体制「コンテンツ・ワールド・エージェンシー」も開設した。

3つめが「クリエイティブビジネスミーティング関西」の新設である。これは、年間を通じた継続的な商談

機会の創出をめざした小規模な分野別展示商談会である。

グランドセレモニー

10月26日(火)、CrIS関西2010のグランドセレモニーが堂島リバーフォーラムにて開催された。

永塚近経局長、奥田当会専務理事による主催者挨拶の後、JAPAN EXPO等で日本文化に親しみの深いフランスからフィリップ ジャンヴィエ・カミヤマ総領事を来賓として迎え、祝辞をいただいた。

また、同セレモニー内では、上海万博の日本産業館で人気を呼んだ「夢ROBO」が国内で初公開された。夢ROBOは大阪創造取引所が掲げる“産業とコンテンツの出会い”の象徴であり、会場に設けられた高さ約6mのはしごを昇り始めると、約400人の来場者の間から大きな拍手が沸いた。



日本初公開の夢ROBO

大阪創造取引所2010

10月26日(火)~27日(水)の2日間、近経局、大阪府、大阪市、大阪商工会議所、当会の5団体共催により、“関西から世界へ”を合言葉に、西日本最大の展示商談イベント「大阪創造取引所2010」が堂島リバーフォーラムにて開催され、2009年を700人程上回る約3,000人の来場者を得た。

3回目となる今年は、教育、エンターテインメント、デザイン、ICT技術、ロボット等、産業用コンテンツからメディアコンテンツまで、さまざまな分野のクリエイティブ系企業・団体が116集まり、ブースを出展した。



大阪創造取引所の会場風景

これら全出展ブースを対象に、将来有望なクリエイティブ製品を発掘し、国内外に発信することを目的に、「大阪創造取引所アワード」が今回創設された。爆発的人気を誇るゴールデンエッグスをプロデュースした

プラスヘッズの臺(だい)代表取締役(審査員長)他による厳正な審査の結果、次の3社が選ばれた。

- ・クリエイティブ・アイデア賞:「スキルインフォメーションズ」
- ・ビジネス賞:「コンテンツ」
- ・グローバル賞:「ズームス」

また、取引所内に設けられた「コンテンツ・ワールド・エージェンシー」では、海外コンテンツ市場に関する展示・紹介を行うとともに、日本と海外マーケットの仕組みの違いについてのセミナーを開催するなど、情報提供やアドバイスを行った。



審査員長による総評

2009年に引き続き開催された「公開ミーティング」では、グーグルの村上憲郎名誉会長から「Googleの次なる創造戦略」と題し、スマートグリッドの活用による近未来の情報社会に関する講演や、シャープの奥田充一総合デザインセンター所長から「次代のデバイスに求められるコンテンツとは?」と題し、出口を見据えてコンテンツ制作すべきといった



グーグルの村上憲郎名誉会長(右)

内容の講演があった。

また、取引所に特別協力いただいたナレッジ・キャピタル・マネジメント主催による「ロボットと感性のシンポジウム」には、夢ROBOを題材に、製作を担当した産業用ロボットのモーター制御等を手掛けるマッスルの玉井博文代表取締役、デザインを担当した喜多俊之IDKデザイン主宰、スカラロボットの開発で知られる牧野洋山梨大学名誉教授らが登壇。夢ROBOの開発を紹介したほか、同ロボットをベースに新世代ロボットの開発に向けたプラットフォームプロジェクトの概要を発表した。



ロボットと感性のシンポジウム

前回好評であったブース出展者のための専用商談スペース「バイヤーズサロン」では、電通や博報堂、毎日放送といったメディア系企業をはじめ、岩谷物流、西日本高速道路等バラエティー豊かな38企業・団体がバイヤーとして参加し、2日間にわたって大いににぎわっていた。



バイヤーズサロン

Creative Junction

大阪創造取引所のプレイベントとして、コミュニティーイベント「Creative Junction」が10月15日(金)、ブリーゼプラザにて開催された。



Creative Junctionの様様

これは新たなビジネスモデルを有するクリエイターと、クリエイターとの連携により新しいビジネスモデルの実現をめざす企業等が出会う場として今回初めて実施した。

本イベントは、大阪創造取引所を補完するものとして、年間を通じた継続的な商談機会の創出をめざした「クリエイティブビジネスミーティング関西」の初回イベント。クリエイターコミュニティーを核とした新しいスタイルの制作代理店、ロフトワークの共同創業者である林千晶代表取締役・PMOの基調講演の後、①映像、②デザイン、③IT・WEB、④CGアニメ、⑤キャラクターの5分野に分かれ、60のクリエイターやクライアント企業・団体等がプレゼンを行い、約300人が参加した会場は熱気に包まれた。

本イベントは、今後も開催される予定である。

(産業部 加宮義隆)